

事業所名: グループホーム たちばな A棟

作成日: 令和 2年 2月 10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つもなかったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価のNo.を記入してください					
優先順位	項目番	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時等の状況下での避難手順・通報装置の操作方法について職員の対応手順を検討する必要がある。	災害時の対応手段を明確にし、職員間で共有し対応能力を向上させる。	災害時のマニュアルを随時見直し、職員間で共有をはかる。また、研修等への参加機会を作る。	12 ヶ月
2	26	入居者様の現状および家族様の要望に即した介護計画の作成についてさらなるアセスメントの分析にて短期長期の目標達成の設定が必要である。	家族様との情報共有と面談にて要望に即した介護作成の計画をおこなう。	面談や電話にて本人様家族様の意向をくみ取り、計画内容の報告をおこない、情報共有をはかる。	12 ヶ月
3	33	終末期および重度化に対するケアについて当施設での方針を見直し、本人様家族様へ周知する必要がある。	重度化の指針としての当施設の方針を明確にする。	重度化の指針として文書内容を検討、更新し家族様へ周知説明を実施しご理解を頂けるよう努める。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月